

金星会に初の男子会員を迎えて!



題字 中村優文子氏(4回生)

No. 13 発行
神戸市須磨区横尾9丁目5番1号
TEL078-741-1501(代) FAX078-741-1512
URL:http://www.keimei.ed.jp
E-mail:kinseikai@keimei.ed.jp
啓明学院内 金星会



同窓会 会長
六回生 佐藤陽子

金星会会員の皆様には、ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

私は、二〇〇五年度開催の同窓会総会において前任の渡邊力ナコ会長の退任に伴い後任の会長として、ご承認を受けました。

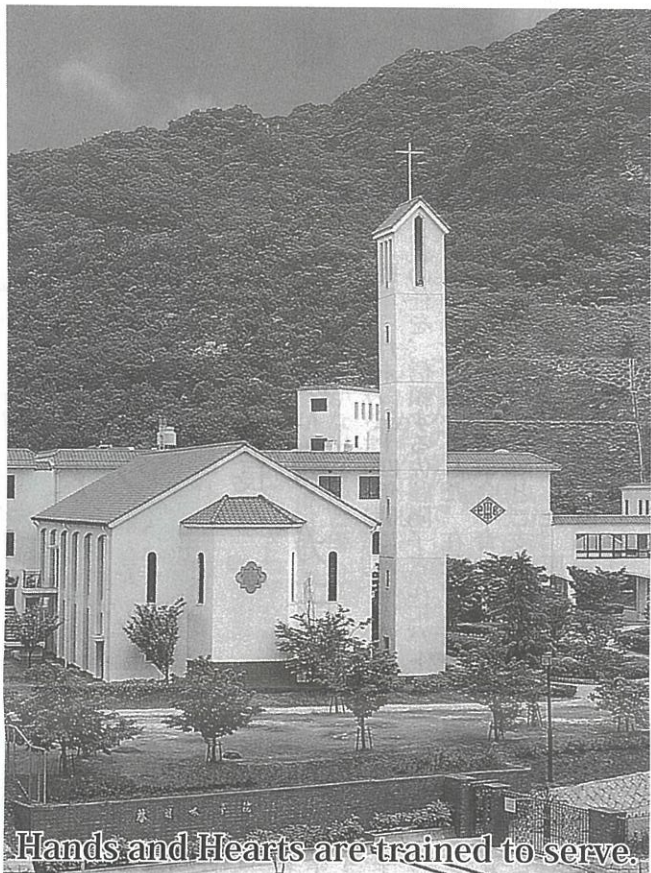
一万八千人余りの会員を有する伝統ある金星会の会長をお引受けするにはあまりにも微力なわが身を省みつつ、同じく承認を受けた新役員共々同窓会の発展の為に心を合わせて励んでまいりたいと願っております。

同窓生の皆様方には、今後ともこれまでと同様に協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。半世紀も前、私自身母校での学びを通して信仰を与えられ、啓明学院の母教会である神戸栄光教会に導かれ、今日に至っております。その関係から私は、毎年2月初め栄光教会での高三生の卒業礼拝に同席し、信仰の父アブラハムの旅立ちの物語を卒業生と共に聞く機会が与えられています。このことを通じて卒業生同窓生の前途に神さまの祝福を祈ることが私に出来る務めであると信じております。

さて11月開催予定の総会では、これまで女子だけだった会員の中に初めて男子会員を迎えることになりました。金星会の歴史に残る出来事です。今年の卒業式では、男子生徒が卒業演説(英語)の中で啓明学院生であることの誇りを高らかに宣言されました。このように男子会員を有する金星会が今後多様な可能性を発揮し、母校の発展のために貢献出来まことを期待しております。

同窓生の皆様、どうか機会あるごとに母校を訪れて自らの目で母校の教育の現場をご覧いただきたいと思っております。母校がこれまでのよき伝統と実績の上に更に関西学院

を軸としたランバスマニアミリーとのよき関係によって、神のみ旨が形となって着実に据えられつつあることを同窓生の皆様と共に喜び、感謝したいと思います。
'01年より始まった「創立80周年記念募金」にご協力いただき有り難うございました。感謝を以て最終報告をさせていただきます。また更なる学校設備の充実のため金星会から教育振興募金のために毎年、寄付をいたしておりますことも併せてご報告いたします。母校発展のために皆様のご協力をお願い申し上げます。
最後に申しあげますが、34年の長きに亘って金星会の会長としてご尽力くださった渡邊力ナコ前会長に心からの感謝を申し上げます。特に啓明女学院から啓明学院へと移行行く中で、その時代の困難な課題を同窓会の立場で学校と共に担ってこられた。また渡邊前会長を長年支えてこられた高瀬佳子前副会長及び旧役員の方々にも深い感謝の意を表したいと思います。渡邊氏・高瀬氏には、今後とも名誉会長・相談役としてご助言いただけましたとは心強い限りです。
総会では、11月29日の総会でお目にかかれまことを楽しみにしております。同窓生の皆様、どうぞご参加くださいませようお待ち申し上げます。



Hands and Hearts are trained to serve.

2008年度年間テーマ聖句
Consideration for Others
一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜びます。
コリントの信徒への手紙1.12章26節

今、学院理事会は学院発展のために、いくつかの建築計画を進めて下さっています。その中の一つに(仮称)「啓明校友会館」があります。大は小を兼ねるとは申しますが、学院の財務実力に応じた投資金額と維持管理費の下、有有効な機能を持つものが望まれます。皆様方の知恵、人脈、金銭、祈り等々、種々の御支援が必要となるでしょうが、これだけ多くの卒業生達が、時には子供連れで、また友人同士連れ立って母校啓明へ帰って来てくれるのですから、学院の総力を挙げてぜひ成功させたいものです。よろしくお願ひ申し上げます。



啓明学院中学・高等学校
校長 尾崎八郎

友あり来たる 楽しからずや

旧約聖書の箴言には、友について美しい言葉が記されています。『真の友は、どんな時にも愛し続ける者であり、苦難の時のために生まれた兄弟である。』(17:17)。世の中には兄弟姉妹を持たない人もありますが、友を持たない人はありません。友についてはまた別の個所で、『世には友らしい見せかけの友がある。しかし兄弟よりのものもしい友もある。』(18:24)と記されています。

人生に於いて最も美しい、そして著しい成長をする思春期を、バルモア女子英学院、啓明女学院、あるいは啓明学院で生きたられた同窓、金星会員の皆さまの心に、何歳になっても息づいている種々の思いは、友のこと、師のことでありましょう。

永年に亘り会長職を荷負って、母校と後輩たちへの支援、同窓懇親の先頭に立って下さった渡邊力ナコ様から佐藤陽子新会長へとバトンが引き継がれている金星会には、今春から同窓諸姉に加えて、新たに男子会員が加えられ衣替えが進んでおりますが、啓明の心は変わりません。

来春の高校入試からは、女子80名募集から男女合わせての80名募集へと変更されます。従来、関西学院大学と協定校関係で20余名の推薦枠数を持っていた女子クラスが、継続校関係となり、80余名の高校からの新入学生全員が、関西学院大学への被推

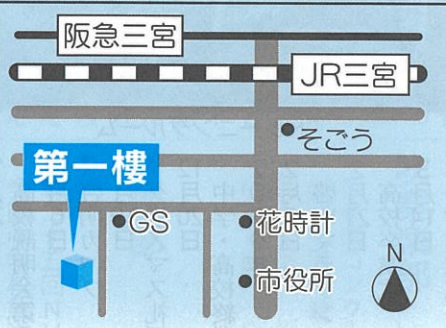
薦権を有することになります。良い女子教育校は良い人間教育校であったと思っております。今の時代は特に良い人間教育が求められ、またその役割を果たす学校が必要です。学院理事会が単に経営政策として男女共学体制を選択されたのではなく、継続校体制を選択されたのでもない事を記憶し、学院史に記して欲しいと願っています。学院の生徒が、若き日に創造主を覚え、その意を心として、「本を読み、友と交われ、汗をかけ」のスクールライフを享受して、良い人間に成長してくれることを願っています。生徒たちは、12歳の、15歳の選択をして学院生になりました。この生徒達が本気で勉強し、友と交わり、祈り、立派に18歳、22歳等の選択が出来、選択される人間に育って欲しいものです。今後とも、金星会の皆様の御理解、共感、御支援をお願い致します。

☆ 2008年度「金星会総会」ご案内 ☆

初めての男子会員を迎え、総会と懇親会を開催致します。懐かしい恩師を囲み、新旧同窓生と共に楽しいひとときをすごそうではありませんか。皆様お誘い合わせの上、多数ご参加下さい。

日時: 2008年11月29日(土)午後3:00~5:30(受付開始 午後2:00~)
場所: 第一楼 TEL.078-331-0031
(JR三ノ宮駅より徒歩10分、花時計の角を西へ、2筋目のガソリンスタンド西側を南に5m)
会費: 5,000円(飲物、税、サービス料金含む8,000円相当料理) 新会員 啓明学院1・2・3回生は2,000円
プログラム: 会食懇親会 報告 アトラクション 福引き(空くじなし)
申し込み方法: 同封のピンク色の申し込みハガキに必要事項を書き入れてお送り下さい。(出席者のみ)
申し込み締切: 11月15日(土)

出席取り消しは11月27日(木)までに電話又はFAXで下記にご連絡下さい。
布澤 TEL.078-851-5934
FAX.078-851-5966 (FAX専用です)
無断欠席の場合、後日、会費をいただきます。



ご挨拶



理事長
今井 鎮雄

紫式部が源氏物語を書いて今年千年になるといわれますが、遠い昔、日本の上流社会には才能豊かな書き手と読み手のいたことがうかがえます。この勉強好きの国民は、その後も時代の中で「学び」を続けてまいりました。

江戸時代、武士は藩校で、庶民は寺子屋で学び、幕末期の江戸の男子の識字率は七十五%ともいわれます。同じ頃、ロンドンは二十五%、フランスは一〇%未満と報告されていますので、日本は高い文化程度を保っていたといえるでしょう。長い鎖国が終わり明治になると、人々がこぞって欧米の新しい文化に熱心であったことも察しがつきます。

が果たすべき役割を担うことのできる人を育ててまいりました。
教育は次の時代をどう創生するか、どのような人が必要とされるかに関わっています。この要請に応えるために、私たちは姉妹校である関西学院と提携し、困難に満ちた新しい世紀の中で未来を切り開く教育について話し合いました。急激に進化する科学や技術に追いつくための知識、実体験の充実。そしてモノを豊かにする以上に人を豊かにすることの大切さを世界が考え始めるとき、教育は「人間とは何か」「幸福とは何か」という哲学的な課題を負うことになりました。啓明学院が中学から大学卒業に至る十年の間に、次代を担う人を育てる役割をとることになったのはそのためです。皆様の母校は、二十一世紀に人が果たすべき役割を考へる場として歩み始めました。卒業生の皆様お一人おひとりが祈りの中、そのことを覚え、よき後輩を育て、支えてくださいますよう、心から願っております。

啓明学院の歴史は百余年前、ランバス先生父子が伝道と教育を伝えるために来日されたところから始まります。お父様のJ・W・ランバス先生は神戸栄光教会の牧師として就任、パルモア学院を建学、広島女学院の創設に関われ、新しい世界の情報や知識を伝えてくださいました。パルモア学院が女生徒を迎えるようになると、入学を望む多くの女子の願いを受け、ハランド先生を院長として啓明女学院が設立されたのは一九二三年です。その後、戦争という苦難のときを超えて、啓明は新しい世界にふさわしい人を育てる教育、世界の中で日本



55年度啓明学院金星会総会

同窓会会長 退任のご挨拶

同窓会名誉会長
渡邊 カナコ

一昨年三月末、三十四年間に亘る同窓会会長の任を、信頼する佐藤陽子さんにバトンタッチさせて頂きました。在任中は母校の教職員の先生方、理事会、育友会、同窓生の皆様の温かいご理解とご支援を賜りまして誠に有難うございました。厚く御礼申し上げます。また高瀬佳子前副会長、前役員の方達の献身的なご奉仕とお力添えは忘れ得ない有難さとして身に沁みて感謝しております。

私は、一九六〇年に啓明の監事、一九七二年に三代目同窓会会長、一九七三年啓明の理事、評議員に就任、現在に至っております。卒業後四十八年間も母校に関わり、卒業生、在校生、卒業生の皆様にとつて有為の会でございます。今後益々新旧同窓生が、Keimei Spiritの基、一丸となり、尚且つ一人ひとりのご協力が何よりも肝要であり、その愛と力の輪が母校「啓明」の更なる発展を大きく支える柱の一つになり得ると信じております。

私は今後も同窓生代表の一人として、同窓生皆様の思いを我が思いとし、名誉会長学院の理事・評議員として、及ばずながら母校の為に少しでもお役に立てさせて頂ければ、心より願ひ祈っております。

いつも喜んでいなさい。
絶えず祈りなさい。
どんなことにも感謝しなさい。



母校ニユース

(仮称)啓明校友会館建設予定

二〇〇六年十二月にチャペルの増築が完成しました。一階・二階席をあわせ約七五〇名が収容できる大きさと、日々の礼拝も中学生、高校生それぞれが一堂に会して執り行うことができるようになりました。また、予定をしておりましたフランス、アルフレッド・ケルン社のパイオルガンの設置につきましては、残念ながらユーロの高騰により購入を見合わせ、現在国産品も視野にいれ武井裕賀里宗教主事を中心に検討中です。

昨年の夏休みには、三ヶ年計画の第一期工事としてD棟と事務室前客用トイレの改修工事を行いました。従来の湿式女子トイレから乾式男・女トイレに変更し、より清潔・綺麗を保てるようにしました。本年夏休みには第二期工事としてB棟と体育館のトイレの改修を予定しています。

その他主な施設整備としては、昨年の夏休みに、第一体育館横の旧ボイラー室をトレーニングルームに改修、全ホールームに美観・空間・実用性を重視したロッカーを新たに設置いたしました。二〇〇六年度に新築生寄附事業。また、本年四月に中学卒業生寄附事業。また、四月に高島学舎も来年二月で開設五年を迎えることとなり、瀬戸内市からの譲渡を前提に今後の活用方法も踏まえ、今秋から第一期改築工事として宿泊棟と浴室の建替えを予定しています。

また、かねてより検討を進めておりました農地付仮称「啓明研修寮」についても、本学院より徒歩圏内の多井畑で最適な土地も見つかり、現在用地買収の最終段階まで進めました。開設は二〇一〇年度を目処に予定しています。

最後に、本年一月に神戸市が神戸空港等埋め立て工事用土砂運搬トンネルの機材搬入口として使用していた、本学院北西角地(約76坪)を神戸市から購入し、今後、同窓会・育友会の皆様様が様々な機会に利用していただける(仮称)「啓明校友会館」を建設する予定です。同窓会からも検討委員会に二名の委員のご出席を依頼しております。完成後、同窓会の皆さんのご利用をお待ちしています。



チャペル増築完成



ドームプール外観



ドームプール内観



トレーニングルーム



トレーニングルーム

母校年間行事 2008

- 4月1日 中学入学式
- 4月2日 高校入学式
- 4月4日～6日 中一前島オリエンテーションキャンプ
- 4月6日～8日 高一前島オリエンテーションキャンプ
- 4月11日 中学高校始業式
- 5月17日 体育祭
- 8月16日～27日 青島キャンプ
- 9月6日 中学・高校始業式
- 9月15日～20日 高2修学旅行
- 10月11日 高校説明会第1回
- 10月17日 創立記念礼拝
- 10月18日 中学説明会第1回
- 10月18日 創立記念日
- 11月8日 中学説明会第2回
- 11月8日 文化祭
- 11月15日 ホームカミングデー
- 11月15日 中学説明会第3回
- 11月17日～22日 宗教週間
- 11月22日 高校説明会第2回
- 12月6日 啓明カップ
- 12月19日 クリスマス礼拝
- 12月20日 中学・高校終業式
- 2009年
- 2月7日 啓明マラソン
- 2月21日 高校卒業式
- 3月14日 中学卒業式
- 3月19日 中学・高校終業式

おなつかしい先生方のお便り (敬称略)

退職された先生

「利ヲ見テ義ヲ思フ」

元校長 黒川 行信

「金星」第十三号の発行をお祝い申し上げます。在任中は金星会の皆様から格別のご支援を賜り、深く感謝いたしております。啓明を卒業してから早くも十年が経とうとしています。お陰様で元気に、兵庫県の老人大学や市の文化講座などで万葉集の講義をしたり、青少年赤十字活動のお手伝いをしたりしております。

昨年の世相を表す文字は「偽」でした。建築や食品の偽装などが横行し、嘆かわしい限りです。原因はどこにあるのでしょうか。「論語」の中で孔子は「利ヲ見テ義ヲ思フ」と述べています。つまり、利益に臨んではそれが義すなわち人の道に外れていないかを考えるという意味です。さまざま不祥事は、目前の私利私欲が目くらんで正しい道を踏み外すところから生じてくることを戒めたことばです。

皆様ますますご健勝で、正しい道を力強く歩まれますようにお祈り申し上げます。半世紀前、不思議な縁で、裸一貫、啓明発祥地三宮校舎に下宿、その時、最初の卒業生が古稀を迎えたことでクラス会に招かれ、思い出せるか心配でしたが、懐かし、教師冥利に尽きる出会いができました。また、退職した教職員「さくら会」に出席した時、先生方がお元気で、活動的な

前校長 柵津 茂實

に驚き、退職の集りかと錯覚するほどでした。退職後、晴耕雨読、ささやかな菜園で自然に親しみ、スポーツ、ウォーキングなど健康に気をつかいながら、生かされている意義を考えつつ、加齢病に悩まされ、前向きに対峙しております。新旧校舎啓明に繋がっている人達の活躍ぶりを見聞するにつけ、よい人達に巡り会ったのだと喜びを感じます。金星会の皆様！伝統ある母校のよきサポーターとなり、ますますの発展と、よき働きを祈ります。

現職の先生

音楽科 岩宮 節子

卒業生の皆様、お元気で過ごして下さるか。私も元気で生徒達と一緒に毎日頑張っています。月日の立つのは本当に早いもので、啓明にお世話になって今年で35年目に入りました。これだけ長く勤めることが出来たことは、啓明が大好きだったこと、卒業生の皆様方との関わりの中で支えられ、健康があたえられたことに感謝の気持ち一杯です。学校も女学院から啓明学院(共学)になり、共学の1期生が今年3月に卒業しました。ハード面、ソフト面など大きく変わりましたが、女学院から受け継がれた伝統と、啓明のスクールモットー「Hands and hearts are trained to serve both」の精神を大切にしながら、これからも大好きな生徒達と一緒に成長した

他校の女子生徒に接するにつけ、二十年間勤務した啓明で出会った生徒達を思い出します。啓明の生徒達は、素直で明るくおだやかな人達でした。在職中は諸々の出来事により回されたのですが、離れてみると、素直で明るい生徒達だったのだ、という事がよく分りました。そういう生徒達に育つ校風が形成された、伝統になった基盤には宗教教育があったのだと思います。日々の礼拝や諸行事を通して、人はいかに生きるべきか、を問いかける青春時代は大変貴重です。十代の心の柔らかな時期に、人生の根本を自己に問いかける経験をした人達は、その後の人生を謙虚にしながら生きていけるでしょう。啓明教育に改めて、瞠目しました。

国語科 山中 鏡子

退職しては二年半が過ぎました。今は他の女子高で週三日、時間講師として国語を教えています。授業する楽しみはまだ手離し難く、でも自分の自由な時間は欲しいという思いが、おおむね叶えられて満足しています。

今年度は久しぶりに中学一年生を担当しました。嬉しいことに卒業生の子供さんたちがたくさん入学してくださるようになり、本当に喜んでます。学校は生徒さんが主役です。一人一人の生徒さんを大切に、啓明に来て良かったと言ってもらえるように、これからも一生懸命に頑張りたいと思っています。皆様の御健康と御活躍をお祈りしています。母校啓明は卒業生の皆様のお越しをいつもお待ちしております。是非、機会を見つけてお尋ね下さい。

聖書科 小崎智通

金星会の皆様、お元気でいらっしやいますか。育友会の方々と始めた「聖書に親しむ会」も今年で八年目を迎えます。この会

卒業生のみなさまへ

国語科 岡本 玲子

昨年三月末をもちまして、お世話になりました「啓明学院」を退職いたしました。三十二年という年月は、短い時間ではないのですが、今振り返ってみると、あつと言ふ間に過ぎていったように思います。卒業生、在校生のみなさまに支えられての教員生活だったと感謝しております。本当にありがとうございました。

退職して何をしたいのかとよく尋ねられます。今は「主婦業」に専念しています。平凡な毎日の繰り返しがおもしろく、今日は何をしようか、何ができるかと考えながら過ごしています。時の流れの中で自分と向き合い、見つめ直して、自信と勇気が持てたら、また何かを始めたいと思っています。世知辛い世の中、忙しい毎日。お身体ご自愛下さい。またお会いできることを楽しみにしております。

退職された教職員

「長い間ありがとうございました」

- 二〇〇七年度退職
 - 金谷 一郎先生 理科
 - 西垣 迪世先生 生活研究
 - 高屋 真紀先生 英語
 - 水口 裕美先生 養護
 - 濱口(宮田) 景先生 理科
- 二〇〇六年度退職
 - 岡本 玲子先生 国語
 - 坪井(角木)しのぶ先生 保健体育
 - 山中あかり先生 理科
 - 北島 伸二さん 事務長
- 二〇〇五年度退職
 - 山中 鏡子先生 国語
 - 田中 由佳先生 英語
 - 内田美登里さん 事務

いつもご参加下さっていた保護者の河相さんが、昨春一冊の本を届けて下さいました。著者の名前をみて吃驚。「あつ河相さんの本や」。ご本人の著作でした。本の帯に「人との出会いから自分を見つけていく少年の物語」とあります。早速にページを開けば、あたたかな出会いと優しさに満ちていました。あつがきの「世界中の人々が、それぞれの愛を降り注いで、さわやかな風がどこまでも吹き渡ることを、願ってやみません。」という言葉通り、素敵なお本です。読書の秋、是非皆様も一読ください。「明石の風、てのひらに届くもの」(河相美恵子 新風舎)。二作目は絵本を出版されました。「ハッピーたこファミリー」(神戸新聞総合出版センター)。毎日新聞にもコラムを連載、ますます活躍です。

クラブ活動

運動部

ヨット部全国優勝!!

6月13日~15日 第20回近畿高等学校ヨット選手権大会(兼全国高校総体予選会)にて 榎原梨乃2年 美馬佳苗1年の艇が優勝 長谷川真彩2年 中井あき2年 岸本明希海1年の艇が4位 この結果、ソロ部門、デュエット部門で優勝 8月15日~20日 彩夏到来'08埼玉総体へ2艇が出場 ヨット部顧問 安福 朗

ソフトテニス部

兵庫高等学校総合体育大会 個人優勝 高3 渡辺明日香 高3 石川奈緒子 団体第3位 以上の結果により

啓明学院では、共学中学校の発足とともに、「学校六日制・必修授業五日制」のもと「土曜選択講座」がスタートしましたがその中のひとつに毎週芦屋浜で行われている「セーリング講座」があります。「セーリング講座」は関西学院大学ヨット部のOBの方々によるKGセーリングクラブの全面的なサポートによって運営されていますが、この講座の受講生でヨットに魅せられた生徒たちが、KGセーリングクラブの方々の指導を受けて練習に励んでいるのが啓明学院ヨット部です。昨年、啓明は男女とも近畿大会で優秀な成績をあげ、佐賀県で開催された全国高校総体(インターハイ)出場を勝ち取りました。インターハイでは、男子の笠井・笠田ペアが初出場初優勝し、高校チャンピオンに輝くという快挙を遂げてくれました。今年も、女子が団体・個人とも近畿大会で優勝し、東京で開催されるインターハイに2年連続で出場します。先輩のパトンを受け継ぎ、同窓の皆様によらしい報告ができるよう全力を尽くしたいと思います。



アメリカンフットボール部 主将 塩田浩樹 部は現在、約50名弱のメンバーで秋大会に向けて日々練習を行っています。先日行われた春大会では関西大会まであと一点差というところで敗れ、兵庫県三位という結果に終わりました。創部4年目の今年は、目標を「全国大会に出場し、一勝をあげる」と定めました。また、皆様から気持ち良く声援を頂けるチームとなれるよう尚一層努力していきます。今後ともアメリカンフットボール部をよろしくお願いたします。

吹奏楽部

吹奏楽コンクール 神戸地区大会 高校A部門 銀賞 中学A部門 出場

放送部 〇第二十五回NHK全国中学校放送コンテスト 兵庫県大会 アナウンス部門 優良賞 佐藤ひとみ(中三) (全国大会出場) ラジオ番組部門 入選 佐藤ひとみ(中三) 但見真奈子(中二) 松本明日香(中二)

2007年度 高校卒業生の進路状況 (卒業生: 224名)

共学部(卒業生: 103名)

(1) 関西学院大学へ継続校推薦入試で進学した者96名

*各学部への進学者数は下表の通り

神学部	0名	法学部	9名	総合政策学部	12名
文学部	7名	経済学部	10名	理工学部	8名
社会学部	19名	商学部	23名	人間福祉学部	8名

(2) 関西学院大学以外の大学・短大へ進学する者7名

*主な進学先
 ◇京都大学 ◇神戸大学 ◇国際基督教大学
 ◇頌栄短期大学 ◇国立 台湾大学
 ◇インターナショナルパシフィック大学(ニュージーランド)

女子部(卒業生: 121名)

(1) 進路先の内訳

大学	短大	専門学校	就職	その他・未定
83名	16名	10名	3名	9名

(2) 3名以上が進学した大学・短期大学

関西学院大学	22名	神戸女学院大学	7名
甲南女子大学	7名	神戸学院大学	6名
神戸親和女子大学	5名	神戸松蔭女子大学	5名
神戸女子大学	5名	神戸海星女子大学	4名
武庫川女子大学	3名	武庫川女子短期大学部	4名
神戸女子短期大学	3名	頌栄短期大学	3名

(3) その他の進学した主な大学・短期大学
 ◇鹿屋体育大学 ◇同志社女子大学 ◇聖和大学
 ◇近畿大学 ◇京都ノートルダム女子大学
 ◇立命館アジア太平洋大学 ◇聖和大学短期大学部
 ◇大阪音楽大学短期大学部

尾崎美穂子(高三)
 伊木美愛香(高三)
 重儀 祐子(高三)
 テレビドキュメント部門 優良賞
 大塚 歩(高三)
 ラジオドキュメント部門 優良賞
 尾崎美穂子(高三)
 伊木美愛香(高三)
 重儀 祐子(高三)
 テレビドキュメント部門 優良賞
 大塚 歩(高三)
 ラジオドキュメント部門 優良賞

クラス会だより



新卒業生をお迎えする 総会が楽しみ!

5回生 松本百合弥

卒業以来早くも55年の年月が過ぎ去りました。5回生は、同窓会名誉会長の「渡邊力ナコ」さんを初め、協力者のクラスメートが中心となって、皆仲良く、遠い方も近くの方も包み込まれて、今日まで毎年春には決まってクラス会が催され続けてまいりました。愛校精神に富んだ方々ばかりで御座います。今年も5月12日(月)三ノ宮の「にしむらダイニング」にて22名の参加が御座いました。昔の学生時代に戻っての楽しい会話が弾みました。年ほとつても皆お若くお元気でそれぞれの活躍を喜んでおります。



5回生 クラス会

強くなった クラスメートの絆

6回生 鈴木八重子 (旧姓・北浦)



6回生 クラス会

私達のクラス会は、今年4月25日、神戸風月堂本店レストラン2階で開催されました。昨年と同じ場所で会合を持ちました。そこは交通の便がよく皆が迷わず出席できること、お料理、お部屋の雰囲気、料金等がとても気に入りと判断したからでした。次期幹事も気楽に引受けてくださり、こんなクラス会もあってよいのではないかと提案し、賛同を得ました。

9回生 岡部佑美子 (旧姓・河合)

卒業以来続けてきたクラス会も会を重ね今年で20回、今回は古稀を祝し、4月21日、泉景園で恩師津津先生をお招きし、東は東京から西は隠岐島からと総勢26名集いました。

和やかな雰囲気のもと、たちまち学生時代にタイムスリップ大いに盛り上がりました。中山手の瀟洒な異人館風の建物、チャペル礼拝、宣教師館でのディナータイム・映画鑑賞・他語り盡せない思い出話に花が咲き、家庭的な環境を共有出来た友との絆を再確認した思いのする時間でした。様々な問題を抱えながら、土日は云々、若々しく、美しく、健康で啓明の精神に感謝しつつ、恩師と共に二年後の再会を楽しみに閉会いたしました。



9回生 クラス会

25回生 後藤 美幸 (旧姓・林)

私達は年2回(春・秋)連絡をとり食事会をしています。昔懐かしい友達学生時代にはほとんど話もしなかつた同級生とこういう形で会うようになったり楽しく話

がはずんで年2回集まるのが楽しみです。その中でもいづれ出る話がある同級生はどうしてののだろうか、会いたいな話になりません。卒業してから月日たちますので、こちらから電話かけても最近はいきなり電話をかけること宗教の勧誘や品物の売買ではないかと思われたりすることもあるのだ、名簿があってもなかなかいきなり電話するのがむづかしいです。広報誌に私達が年2回集まって



29回生 小林佳代子 (旧姓・中司)

金星会の皆様、御無沙汰しておりますがいかがお過ごしでしょうか。早いもので、私たちが29回生は、今年50歳になります。神戸の繁華街にあった母校も今は、須磨区の新校舎で、男女

共学になり、私たちの過ごした高校とはずいぶん違った雰囲気。月日の流れを感じます。卒業しても地元を暮らす私たちが、今年のお正月に8名集まって三ノ宮で昼食を共にしました。普段忙しい日々を過ごしていますが、会えば学生時代のままおしゃべりは尽きることがありません。これを機に先生方にもお声をかけ、遠方に住む仲間にも早めに連絡をして、次回はクラス会、同窓会へとつなげていけたらと願っております。

29回生 クラス会

卒業してから、それぞれにいろいろな人生があったことと思いますが、楽しい時をすごせるように喜怒哀楽を分かちあえるおしゃべりをしませなか。林先生、ご都合を教えてくださいね!

32回生中学校同窓会 32回生 中岸 圭子 (旧姓・正垣)

私達は、30年振りに八杉先生澤田先生を囲み七月中旬に花開二豊福一で同窓会をしました。卒業以来、あまりにも長い年月が過ぎ、連絡をとる事が出来なかつた人が多く、ようやくとる事が出来ても遠方の為に参加する事が出来ない人も数名いました。その中、13名が集まり、まるで中学時代に帰った様ににぎやかに談笑しました。

中学一・三年生に担任をして頂いた八杉先生は、ご高齢にもかかわらず遠方よりご参加頂きご健勝なお姿に一同感嘆しました。また、澤田先生の記憶力も確かさに驚くと共に楽しかった中学生活が走馬燈の様に頭をよぎりました。なつかしいひとときを過ごし、5年後の再会を期し、散会となりました。



32回生 クラス会

同窓生だより



平和を願って

6回生 石野 早苗 (旧姓・山田)

一九四五年三月十七日未明神戸大空襲に遭った。B29から無数の焼夷弾が滝の如く投下され、住んでいた寺の境内にあった防空壕を出ようとした時、私の右手を焼夷弾が直撃! セーターやオーバーの袖があるのに手は無くなってしまった。消火活動をしていた両親と姉に「早苗のお手々が無くなっちゃったよ、字も書けないし学校にも行けないよ」と叫んだ。驚いた父が日本手拭いで止血をし、私をおぶって燃え盛る炎の中を必死の思いで小学校へ避難した。夜明けに病院に行き、ローソクの灯で手術。上腕を鋸で切断。病院は怪我人で溢れかえっていた。直ぐ上の姉は炎の中ではぐれ、四年後にはお骨になって見つかつた。後に通つていた公立の中学での授業中、教師から「その手の無い子」と言われた。空襲体験については沈黙を守つた。しかし体験者が減り、記憶の風化と共に平和が揺らぐ現状に『生かされた者の使命』と01年から「神戸大空襲を記録する会」の『語り部』の一員として、中学校を訪問し、子供達に体験を話している。何の罪もない人の命を奪い去る戦争は、絶対にあってはならない。一日も早く世界中から戦争がなくなり、平和に過ごせるようにと心から祈りつつ活動を続けている。

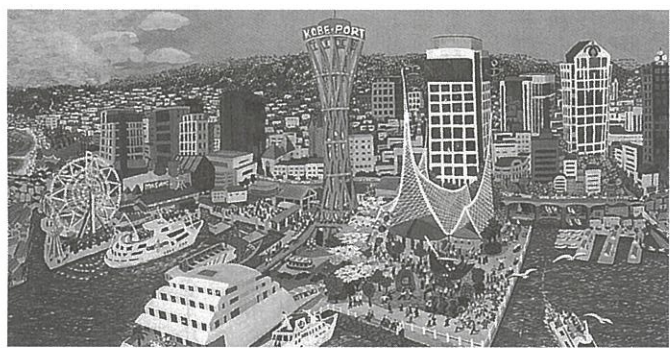
27回生 安部はるみ (旧姓・前川)

5月に開催した初個展には300人程お越しいただけました。急な個展だったため、案内は手渡しと新聞取材記事に頼るだけのもの。そんな中、同級生の「和(かず)」と再会。知人に紹介されて行った整体医院の待合室でカードファイルを見つけて「なんで、はるみちゃんの絵ハガキがあるの?」となり、初めて会った先生と話が弾んだそうです。先生が私の絵のファンで、人の縁というものに驚きました。また、「9月23日(火)28日(日)」まで三宮北野坂『ギャラリーミウラ』にて「愛する神戸への想い、それは制作への力」展を開催しました。詳しくは安部はるみの公式ホームページをご覧ください。

一学期の終わりに

17回生 寛 伸子 (旧姓・田中)

一九八一年から、大阪女学院の中学・高校の非常勤講師として教壇に立ち、還暦を過ぎた現在も週に四日、聖書の授業を担当しています。今や孫のような生徒たちとの交わりは楽しくて、反抗期真っ只中の憎まれ口も可愛いと思えるのは、年の功というものでしょうか。学生時代、一週間続く定期試験の度に、早く大人になって試



同窓生だより



32回生 永藤香代子 (旧姓・山田)

同窓の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。土曜講座で「東洋医学の養生法」というタイトルで講座をさせて頂いておりましたが、尾崎校長先生はじめ諸先生方のご好意に甘えながら四年目が過ぎました。

んだ遠い日を懐かしく思い出しながら、現在も受け継がれている「厳しさの中にある優しさ」の心の啓明教育に触れ、日々背筋を正しながら過ごしております。十代で始めて出会った聖書の教え、信仰心の大切さ、何事にも一生懸命は、私の人生の基本になっており啓明を心の支えに精進して参りたいと思っております。

今年度の春、京都大学経済学部に入學し、神戸から京都まで自宅通学を続けています。片道二時間の通学は決して楽ではありませんが、京都神を自由に行き来できること、自由に学風を持つ京都大学で学生生活を送れることが、そうした苦勞を忘れさせてくれます。

啓明学院3回生 永松 剛

今年の卒業生

啓明学院3回生 豊田 智大

私たち共学一期生が啓明を卒業し、早四ヶ月が経ちました。関西学院大学での春学期の学びも、もう終わろうとしています。高校から大学へと学びの場を大きく移し、毎日を生きていると、啓明での学びが大きく役立つているなど実感する機会に幾度も遭遇します。特に感じるものが、チャレンジ精神です。

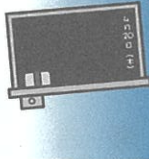
母校で教育実習

57回生 田村有佳梨

実習初日、私は生徒達と仲良くなれるのだろうか、きちんと授業をしてあげられるのだろうか、という不安と緊張を胸に登校しました。最初の一週間はわからないことばかりで、多くのことに戸惑いも感じましたが、先生方が本当に様々なことを教えて下さり、丁寧な指導して下さいましたので、とても早くなじむことが出来ました。二週目からの実習授業は大変緊張しましたが、皆がしっかりと話を聞いてくれたので最初の不安が嘘のように思えるくらい楽しく授業を行うことが出来ました。

57回生 平井 邦佳

今、振り返ってみると3週間は嵐のように過ぎていきました。久しぶりに啓明学院の校舎にはいり、私が在学していた頃よりもきれいになっていてとても居心地が良く、勉強に集中出来る環境が整っていました。教師という立場で母校に戻ってきたので、打ち合わせなどにも参加しました。初めの頃は、まだ自分が先生だという自覚を持つ事が出来ておらず、生徒と友達のように話してしまっていました。授業を重ねるごとに言葉使いや生徒への指示がきちんと出来るようになりました。



新入生のオリエンテーション

「キャンプを終えて」

高1E 石村 薫里

私は、この二泊三日のキャンプに行く前、とても不安でした。まだ入学したばかりで友達も少なく、学校にも慣れていなかったので戸惑っていました。本当にどうすればいいかわかりませんでした。でも、私はこのキャンプで友達を作り、仲良くなることができました。

「キャンプを終えて」

高1E 松田ひかり

「あかんわ、忘れてたわ。」キャンプを終えて私はこう思った。春休みに入ってから完璧にたんでいた気持ちにはキャンプによって、引き締められたと思う。午前一時に寝て午前十時に起きていた私に午後十時半に寝て午前六時半に起きるという突然の生活の変異は大き過ぎた。

「大学生になって」

啓明学院3回生 前田 恵美

大学に入學して4ヶ月が経ち、学校生活にもようやく慣れました。しかし、最初は90分授業や教室に200人以上いることなど驚くことばかりでした。友達ができるのかな、という不安もありました。しかし、今はたくさん友達もでき、サークルにも入り楽しい大学生活を送っています。

関西学院大学に入って

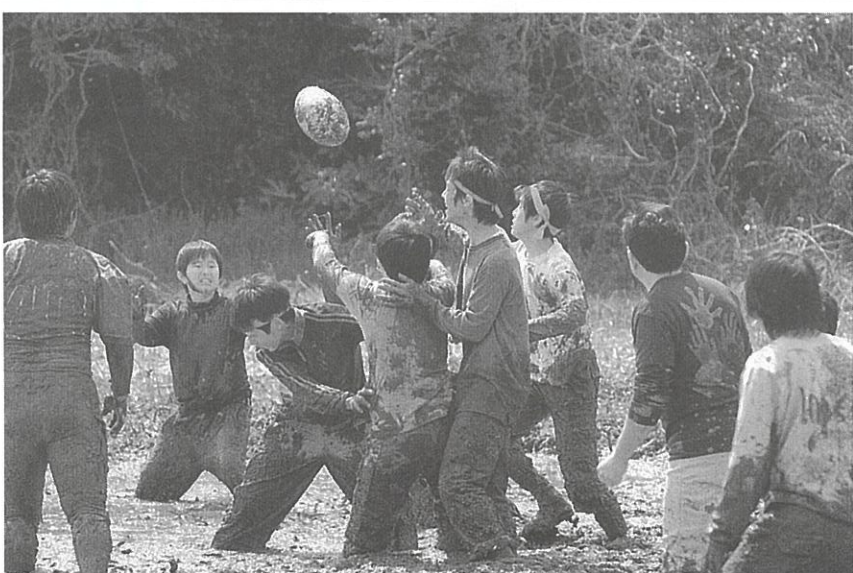
啓明学院3回生 寺田絵美子

大学生になり、私の生活は高校の時と比べて大きく変化しました。私服になり、毎日服を選ぶ必要がなくなった。朝の準備に時間がかかるようになったという点もありません。朝の準備に時間がかかるようになったという点もありません。

「初めてのメチャビー」

中1A 佐野 太祐

ぼくにとってはじめてなことだらけのキャンプでした。その一つがメチャビーです。はじめは足にどろがついただけで、「きたない」と思っていました。でもだんだん馴れてきて、やっと足にどろがついたぐらいでは、そんなに反応しなくなりました。ついに試合の時に足がどろに引きこまれてしまいました。ぜんぜんどろはついていないと思っても予想以上にどろがついていて、びっくりしました。



荷物と不安を詰めこんでいたけれど、今はもうカバンの中に不安はもう無い。これから、またいろいろな困難が待っているのだろうかけれども、私は負けたくない。もっと沢山のひとと仲良くなって親交を深めたい。もっと沢山の事を学んで自分の夢を叶えたい。このキャンプは本当に私にとって深く思い出に残るものだった。



2008年度 金星会役員紹介

名誉会長	渡邊カナコ (旧姓 渡邊)	5 回生
相談役	高瀬 佳子 (旧姓 橋本)	7 回生
会長	佐藤 陽子 (旧姓 本谷)	6 回生
副会長	梅岡寿美子 (旧姓 和田)	19 回生
書記	河井 祥子 (旧姓 新井)	9 回生
会計	才田 章子 (旧姓 箱根)	17 回生
会計	布澤 成子 (旧姓 安田)	29 回生
会計監査	田中 和子	14 回生
会計監査	中岸 圭子 (旧姓 正垣)	32 回生
同窓会係 (教職員)	沖花 玲子	26 回生
同窓会係 (教職員)	田中 優子	28 回生



文化祭・同窓会喫茶室にて

☆ Homecoming Day ☆ ご案内

お誘い合わせの上、どうぞご参加下さい！ お待ちしています！！

日時：2008年11月8日(土) 9:30~14:30 啓明学院文化祭の日

場所：啓明学院
市営地下鉄「妙法寺」(三宮駅より約15分)下車、駅前より
市バス②③にて「啓明学院」下車、またはタクシーにてワンメーター

行事：①卒業生専用喫茶室(3階同窓会喫茶室左隣の教室)で、紅茶とケーキを無料サービス
②後輩の文化祭を楽しみ、懐かしい諸先生との再会も！！
★生徒クラブ活動・演技(体育館)・展示・各種模擬店・PTA・バザー等(各教室、校庭)



お知らせ

★毎年、秋の「啓明学院文化祭」の日を同窓生のHomecoming Dayと定めております。同窓生多数のご来校をお待ちしています。

★毎年ご案内は差し上げませんが、文化祭の日程が決まり次第、啓明学院のホームページ中「同窓会」(<http://www.keimei.ed.jp>)に掲載致します。または啓明学院事務所(tel.078-741-1506)にお問い合わせ下さい。

報告：1982年来、同窓生喫茶室を母校の文化祭で設けておりますが、2003年からHomecoming Dayを開催するにあたり、紅茶とケーキを無料でご用意し、皆様をお待ちしております。なお喫茶室の収益金は生徒会に寄付しております。

★クラス会を開催された方は、その折の写真とコメントを金星会までお届け下さい。Homecoming Dayの同窓生の教室で掲示したり、同窓会報のクラス会だよりに掲載いたします。



(仮称) 啓明校友会館建築予定！

母校の発展と充実を願い、ご理解とご協力を！

同窓生の皆様には、同窓会の活動に対して、ご支援を賜り感謝しております。

2007年度より「啓明学院教育振興募金事業」が始まりました。金星会も毎年この募金事業に協力致しております。下記に記載しました【2008年度啓明学院教育振興募金事業】の趣旨をご理解

いただき、同窓生の皆様にご協力をお願い申し上げます。特にこのたびの事業計画の中に同窓生の皆様も利用させていただける(仮称)啓明校友会館の建築が挙げられています。何かと出費多く厳しい中ではございますが、このことの実現化に向かって皆様方のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

同窓会会長 佐藤陽子

2008年度啓明学院教育振興募金事業協力をお願い

本学院の歩みが神様と共にあることを憶え感謝します。

2001年の関西学院との教育提携を期に、共学化・近代化への対応、また、啓明らしい教育の特色化のために募金事業へのご協力をお願いしてまいりました。この間、本学院と生徒たちの成長を信じてくださった多くの方々よりご厚志をいただき、心より感謝している次第です。

ご寄付を中心に自己資金と借入れをあわせ、6年間で約12億円を投入し、教育環境の整備も別掲の写真のとおり計画に従って進捗しています。

本学院も他私学と同様公費助成を受け、教職員にも我慢してもらいつつ、相当厳しい経営努力を続けて参りました。啓明学院の生徒たちが、優しさや遅さを兼ね備えた世界市民として、知的鍛錬を受け技能を習得して成長するような教育を行い、誇りと愛着を持ってくれるような学院になるためには、なお引き続いての皆様のご支援が必要です。

この度、神戸市からの要請もあり、本学院の北西角の隣接地の購入と建設を事業計画に盛り込むこととなりました。ここには2教室を含み、育友会・同窓会などの校友活動を展開する(仮称)啓明校友会館を建築したいと考えております。これを含め、当学院の教育を更に発展させるため、下記の事業を計画したいと考えています。

- A 教育環境整備 (含、パイプオルガン設置)
- B (仮称) 啓明校友会館の建築
- C 啓明研修寮 (仮称) の建設
- D 啓明学院前島学舎 (瀬戸内市牛窓町) の譲渡及び改築
- E 教職員の研修補助・F 奨学制度充実

本学院は、アメリカ南メソジスト監督教会のランバス宣教師ご一家が1886年に神戸で始められた小さな教会と読書館がルーツです。爾来110余年、関西学院との連携を軸にした改革を経て、母教会である神戸栄光教会、広島女学院、聖和大学、パルモア学院との関係を深めながら、1100余名の生徒たちがメソジストの伝統である「愛・祈り・奉仕」の精神を諸先輩がも引き継いで学んでいます。

本学院の生徒たちに、豊かに本を読み、深く友と交わり惜しみなく汗を流す人生の原型となるような学院生活を送らせたいものです。経済状況厳しい折りですが、なにとぞ宜しくご協力くださいますようお願い申し上げます。

在 主 平 安 2008年4月

学校法人啓明学院 理事長 今井 鎮雄 育友会 会長 福本 敏彦
院長 宮田 満雄 同窓会名誉会長 渡邊カナコ
中学校高等学校 校長 尾崎 八郎 会長 佐藤 陽子

◎ご寄付に対する所得控除について

寄付金に対しては所得控除(所得税減免措置)が受けられますので、確定申告の時に必要な「寄付金領収書」を発行させていただきます。

◎振込先

○1口1万円(口数、金額に関係なく御寄付いただけます。)

○郵便局備え付けの振込用紙をお使い下さい。

口座番号 00990-9-0004869
加入者名 学校法人啓明学院
金額 手数料を引いた額
通信欄 「2008年度啓明学院教育振興募金」
「第〇回生または〇年3月卒」
「氏名(旧姓名)」
「〒」「住所」「電話番号」
(※通信欄は上記項目を必ずご明記下さい)

◎銀行振込をご希望の方は、啓明学院事務所にTEL下さい。

振込用紙をお送りします。TEL:078-741-1506

◎学院事務局にて御寄付を直接受け付けます。



小ホール



情報教室



第1図書室



理科実験室ABC



第2体育館



前島学舎

創立80周年 記念募金の感謝とご報告

金星会は「啓明学院創立80周年記念募金」を二〇〇二年十二月一日〜二〇〇六年十一月三十日に亘って、同窓会の皆様方に募金へのご協力をお願い致しました。同窓生の皆様から金五百二十万六千円のご寄付が寄せられましたことをご報告し、深く感謝申し上げます。尚、金星会からも二〇〇二年〜二〇〇四年の三年間に合わせて三千万円を寄付させていただきました。

前会報第12号(二〇〇五年発行)にご寄付者の中間報告をさせていただきました。それ以降に新たに寄付いただいた方々の芳名を下記の通り報告させていただきます。尚、啓明学院から全ての寄付者、団体に寄付者芳名録「事業と報告」が送付されました。このたびの会報に全寄付者のご芳名の記事を省略させていただきますことをご承知ください。心からの感謝を以て最終報告とさせていただきます。

中村 尚子(パルモア女子英学院卒)	
今野 方子(5回生)	澤田かおり(24回生)
君田かおる(5回生)	納谷 淑恵(25回生)
尹 小夜子(5回生)	矢野 桂子(28回生)
松田 節子(5回生)	片平 裕子(36回生)
後田富久子(6回生)	中野真理子(38回生)
小川 洋子(7回生)	田中 淳子(41回生)
畠岡 澄子(11回生)	安積 啓子(46回生)
吉田 裕子(14回生)	目黒 紀乃(46回生)
五井 愛子(20回生)	高橋 真由(50回生)
森平彩友美(22回生)	(敬称略)

個人情報の取り扱いと保護について

(個人情報保護基本方針)

1. 同窓会における個人情報の定義
個人情報とは、個人を識別できる情報で、氏名、住所、電話番号、勤務先・在学学校名、勤務先電話番号、最終学校等の情報を指します。また、これらの情報のみでは識別できなくとも、複数の情報を組み合わせることにより個人を識別できる情報も含まれます。
2. 個人情報を提供いただく場合について
同窓会で個人情報を提供いただくのは、以下の場合となります。
●同窓会事務局から個人へ直接依頼する場合
●同窓生や家族から間接的にご連絡いただく場合
●事務局に直接ご連絡いただく場合
3. 法令等の遵守・個人情報保護方針の改定
同窓会では、日本国における法令等に従った個人情報の管理、利用を行います。同窓会では、日本国における法令等の変更に合わせて、個人情報の保護をより確かなものとするため、またはその他の理由により、個人情報保護方針を改定させていただきますことをご案内いたしますので、定期的に個人情報保護方針のご確認をしていただきますようお願いいたします。

詳しくは金星会のHPをご覧ください。 啓明学院金星会

住所変更通知お願い

住所変更の方はいつでも迅速に、啓明学院内「金星会」宛に、ハガキか
TEL 078-741-1506
FAX 078-741-1512 または
E-mail (kinseikai@keimei.ed.jp) にお知らせ下さい。
「〇回生又は〇年3月卒 氏名(旧姓) 〒住所・電話番号」